

## 令和5年度都立町田工科高等学校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・社会に出て、生きて働く言語能力の育成を目指す(社会人基礎力) ・一年次は基礎学力と人間性・基本的な生活習慣の確立。教員主導の割合を高めにする。 ・二年次、三年次と生徒主体の割合を増やしていく。	・全学年で、読書活動の推進に取り組む。 ・図書館との連携(POP作成、おすすめ本の紹介プレゼンテーション) ・出版社主催の作文コンクールへの応募
数学	数学の基本的な知識及び技能を身につける指導の充実	習熟度別授業の利点を活かし、各クラスの到達度に合わせた授業展開の中で、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる。	生徒同士の学び合いの時間を作り、生徒同士で数学の事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理するなどの技能を身に付けさせるような授業を実施する。
英語	英語の基礎・基本を身につけさせる指導の充実	・あらゆる場面で中学校の内容を絡めた指導を行う ・特に苦手意識がある生徒には補講の充実を図る ・各学期に2回スピーチテストを実施 ・全ての授業で開始1分間「話すこと」についての活動を実施	・GE-Net20指定校の取り組みの中でオンライン英会話を年間10回程度実施し、より実践的なコミュニケーションを行う場を多く設ける ・JETとのTTの授業を増やし、英語でコミュニケーションを取る機会を増やす
地理歴史 公民	言語活動の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・教科会にてポートフォリオ等の意見交換	・公共においてポートフォリオの単元ごと実施 ・Teams, Formsや考査等で文で解答を書かせる活動を実施
理科	科学の基本的な知識及び論理的思考を身につける指導の充実	・生徒に興味・関心を持たせるため、演示実験や生徒実験、ICTを用いた授業を展開する。 ・基本的事項を定着させるため、ノートや実験プリントを活用していく。また提出させることで授業への取り組み姿勢を持たせる。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。
保健体育	「健康的で健やかな体づくりと継続的な運動の重要性」の指導の充実	・毎時間、ラジオ体操、筋力トレーニングをおこない、健康的な体づくりをおこない運動の習慣を持たせる。 ・5分間走を毎時間おこない、体力の強化を図る。	・スポーツテストに向けて、体力の向上を目指し自身の課題を見つけ出し、改善策を考えられるようにする。また、授業内での活動に生かすことができるようにする。
家庭	調理技術・被服技術に重点をおき、自立する力を身につけさせる指導の充実	・被服実習は一枚の布から裁断し、立体的に服を作り上げる過程に取り組ませる。 ・調理実習は色々な食材を扱わせ、基本的な調理技術を身につけさせる。	・服作りが終わった生徒には巾着を説明書を読みながらなるべく自力で完成させるように指導する。
工業	「課題解決」につなげる実習の充実	・課題解決に関する指導が受けられるTOKYO P-TECHのメンタリングを課題研究の一部に取り入れる。 ・民間補助教材としてCiscoネットワークアカデミーを導入 ・コンピュータデバイス、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施	・Cisco ネットワーキングアカデミーで講座を開いて生徒に参加させる。 ・TOKYO P-TECHでIBM、Cisco、Salesforceに訪問し、IT分野で活躍する専門家から指導を受ける。